

平成30年度第1回総合戦略推進アドバイザー懇談会

日時	平成30年8月21日(火) 10時30分～12時00分	
場所	生涯学習センター 202	
委員	出席者 (敬称略)	【産】 (株)フジイ代表取締役 金森 薫 【官】 岐阜県女性の活躍支援センター長 原 永子 【学】 中部学院大学短期大学部幼児教育学科教授 杉山 祐子 【金】 東濃信用金庫美濃加茂支店長 渡辺 洋一 横山 幸子 【労】 ハローワーク美濃加茂所長 山下 保
事務局	美濃加茂市経営企画部 部長:渡辺 久司 企画課 課長:佐藤 係長:井戸 成栗、庄司、小畑、山口	

1 開会

2 経営企画部長 あいさつ

この4月からお世話になっております。

ざっくばらんな懇談会なので、固いこと言ってしまうのですがご了承ください。

カミーノの関係でご指導を今後ともお願いします。

順調に進んでおりまして、的確なアドバイスをいただいて事業を進めておりますのは、みなさまのおかげです。

女性活躍支援センターを立ち上げ新しい段階に進んでいきます。

3 委員委嘱

ハローワーク美濃加茂 山下 保所長の紹介

4 総合戦略アクションプランの進捗状況について【資料1】

【事務局説明】

- ・今年の9月に2回目の改定を実施したいと考えています。
- ・27年度の策定、今年度3年目(折り返しの時期)
- ・昨年度大きく改定を行ったため、今年度は内容の修正、KPI が適正な数値なのかを確認ながらブラッシュアップを行います。
- ・表の内訳として、青色がKPI達成できているもの、緑色が達成できていないものとなります。
- ・KPI全体で約7割が達成で、約3割が未達成となっています。

・KPIが達成できていない事業もあるが、平成29年度までに実施するとした事業はすべて実施できています。

・KPIの達成できていない主な原因としては市民の方の自発性や意識(市でコントロールできない部分)に左右されるもの、一定の需要はあるものの、市が掲げるほどのニーズがないのではないかと考えています。

5 総合戦略アクションプランの見直しについて【資料1】

【事務局説明】

・今回、KPIの見直しを行った事業は4事業あり、目標値を上げたものが、「あい愛バス」と「話せる英語教育事業」の2事業で、あい愛バスは利用者数の増加、話せる英語教育事業は、児童生徒の「英語を使う活動は楽しい」割合の増加となっています。

目標値を下げた事業は、「市民ミュージアム活動」と「みのかも成人式」の2事業で、市民ミュージアム活動は市民連携プログラムの参画して活動する市民総数を減らす、みのかも成人式は、新成人の参加率を減らすとなっています。

下げた主な理由としては、市民ミュージアム活動は、託児付の講座は需要があるが、参加者が少なく少人数講座となっていることと、ボランティアの減少で、講座を増やしたくてもできないことが挙げられ、みのかも成人式は過去10年の参加率の推移が約70%であり、直近2年においては、70%と下回っているため、現実的な目標として70%を維持していきたいというところです。

(補足説明)

・実績値を表に追加し、目標値に対して実績がどうなのかを分かりやすくしました。

・カミーノ推進プロジェクトを記載しているものが、市民から提案があった事業となります。

⇒女性活躍支援センターの計画もとにもなっています。

・新成人の参加率の目標を80%と掲げてきましたが、70%を維持していくこと

交流のつながりがまちづくりになる

・カミーノガーデンとして公共施設をあたらしい使い方急伊深村におきやれを指定管理

・企業にも子育てやワークライフバランスに取り組んでもらえるように、県のエクセレント企業の制度を活用して市としても斡旋している 商工会議所を通じて市内の企業に周知や相談会を実施しています。

・学童の拡大については昨年度にアドバイザーのみな様と相談させていただいて、学童の支援が欠かせないということで、平成29年度の9月から取り組んでいます。

・学習支援・こども食堂も昨年度掲げたのもで、学習支援登録者数の目標が30に対して36、こども食堂2か所に対して2か所で、今年はさらに上積みしたい。

・ふるさ検定、美濃加茂への愛着をもってもらうためにふるさ検定(M-1検定)を行いました。

⇒今年は、坪内逍遙先生にスポットを当てたイベントを行います。

・若者と企業がつながる事業については、高校生が地元企業参画していく取組です。

⇒昨年は2件実施できました。

- ・未来のまちをつくる人を育てますについて未来の人材育成として主に4～5事業取組んでいます。昨年学生から提案いただいたものは、いくつか実施しています。
- ・KPI 目標についてはほぼ達成・維持できているが伸び幅が少ないところがあります。
- ・教育については鈍化しているため、もっと力を入れていかなければいけないと考えています。

6 地方創生推進交付金事業の評価について【資料2】

【事務局説明】

- ・地方創生推進交付金は平成29年度において3事業が対象で、今年度新たに1事業が対象となっています。また、地方創生拠点整備交付金として1事業(旧伊深村役場の活用)あります。

(地方創生推進交付金)

□姫 Biz 戦略事業(交付対象期間:H28～H30)

- ・今年度が、交付金対象の最終年度となっています。
- ・平成29年度の主な事業は、姫 Biz 運営とクラウドファンディング事業となります。
- ・交付決定額が4, 971, 000円に対して、実績額は4, 762, 867円となっており、計画通りに予算執行できていると言えます。
- ・KPI目標・実績は、目標が新規起業・出店件数2件に対し、実績が2件であるため、達成できています。
- ・姫 Biz 運営は相談者に対する起業までの支援を伴走型で行っているため、起業・出店に結びつけることができ、KPI目標の達成に繋がっていると考えます。
- ・クラウドファンディングに行政が関わることによって、起業の手段の1つとして市民の認知度が高まってきていると考えます。

□二市連携 ICT 活游子育て支援事業(交付対象期間:H29～H31)

- ・米子市との連携事業となっています。
- ・平成29年度から交付対象となっており、主な事業はデータ分析・データ活用指導、システム開発準備となっています。
- ・交付決定額6, 000, 000円に対して実績額は5, 862, 635円となっており、計画通りに予算執行できていると言えます。
- ・KPI目標は3つあります。
 - ①待機児童減少数5人減で実績は2人増で未達成ですが、これは米子市との合算した数値であり、美濃加茂市だけでいうと9人減となっているため、美濃加茂市としては減少の成果があります。
 - ②2新規女性就業者数1, 023人で、実績が1, 027人で達成となっています。
 - ③発達支援一般相談件数353件で、実績が270件で未達成となっています。
- ・待機児童数の減少や女性就業者数の目標値の達成からして、美濃加茂市の子育て支援の環境が決してマイナスな状況ではないと考えています。
- ・ICTは、保育士の質の向上やスキルアップを目指すためにあるが、実際のシステムを使いこなす

ための時間は必要であるため、効果の有無の判断はもう少し先になると考えています。

□里山再生事業(交付対象期間:H29~H31)

- ・平成29年度から交付対象となっており、主な事業は、里山ビジネスモデルの構築、整備のための工事となっています。
- ・交付決定額7,500,000円に対して実績額は6,215,400円で、多少差額がありますが、事業は予定通り実施できています。
- ・KPI目標は4つあります。
 - ①森林環境教育の参加者満足度が65%で、実績は100%です。
 - ②多面的機能を発揮している里山の面積18haで、実績は22.6haです。
 - ③年間延べ林業作業日数2,525人日で、実績は2,540人日です。
 - ④里山再生・活用プログラム実行数(累計)4事業で、実績は5事業です。
- ・いずれのKPI目標も達成できているため、計画通りに事業が実施できていると考えています。
- ・整備した場所は、ワークショップや森のようちえん等の事業で活用できています。
- ・今後は、ビジネスモデルの構築に向けた資源活用や経済循環の確立に向けてさらなる検討を進めていきます。

(地方創生施設整備交付金)

□旧伊深村役場庁舎を活用したまちの賑わい創出事業(交付対象期間:H29)

- ・主な事業は、急伊深町役場の整備、地域人材育成事業、地域文化財次世代継承事業となります。
- ・平成29年度は当初と追加で2回交付を受けており、1回目の交付決定額が32,025,000円に対して実績額は29,773,053円で、2回目の交付決定額が10,202,000円に対して実績額は9,172,242円となっています。
- ・地域の新たな交流の拠点となるカフェを整備して、平成30年の6月オープンしました。
- ・本来は、平成29年度からKPIの測定をするところですが、整備が年度末までとなり、オープンが子年度に入ってからとなったため、平成30年度から測定することになります。
- ・おきやれを拠点としていかに活用していけるのか、伊深に立ち寄ってみようかなと思ってもらえる方法をおきやれを中心に考えていかなければいけない。
- ・新しい地域の賑わいの拠点になることを、市としても考えていくことがこれから求められていることだと考えている。

【補足説明】

□FAVVO 美濃國

- ・姫BizでFAVVOを活用したり、どのようにPRすればいいかをフォローしている。
 - ・それってあるといいよね！思われた方が思われた方を支援する。
 - ・姫Bizができたおかげで、スモールショップが出展し始めている。
- 例) ソレイユ(藤本さん)⇒姫ビスで相談をし、出展

【アドバイザーからの意見】

□カミーノ全般

- ・美濃加茂市にゆかりが無くても HP 等で福祉のサービスを見て、選ぶ方がいるため、こういった事業がこの先人口の増加、発展につながると思った。
- ・講座の参加等は美濃加茂在住の方だけになるのか。
- ・犬山の盛り上がりについていろんな市から来た人が盛り上げているので、犬山が潤っているわけではないとのこと。

□みのかも成人式について

- ・分母がどれくらい的人数で、どうして来られないかを調べる必要があるのではないかな。
- ・来られない人にはフォローが必要なのではないかな。
- ・理由を追及することで、数値が向上するのではないかと。(支援できることがあるのではないかな)

□市民ミュージアムについて

- ・新規、リピーターの数を追うことでみえてくるものがあるのではないかな。
- ・数字に出してみると難しいかもしれないが、それが必要なのではないかな。
- ・託児付きの講座にどうやって参加しようと思っていて、選定しているのかが気になる。

□二市連携 ICT 活用子育て支援事業

- ・ICT 事業についてはランニングコストがかかるのではないかな。この事業の継続をどのように考えていくのかを検討する必要があるのではないかな。
- ・今年度の成果が来年度の計画につながるので注目してもらいたい。

□ワークライフバランスについて

- ・古い冊子のため、新しい冊子の名称でだしてもらいたい。
 - ・育休者が40人～50人くらいいるが、途中の復帰が難しい。
- ⇒人手不足復帰者の選択肢を増やしていきたい。

□ハローワークとの連携

- ・企業は、慢性的な人手不足であるが、どうやってハローワークと連携するのか知りたい。
- ・企業の説明会でどれだけ企業がPR できるか。
⇒求人情報はなくても良いがハローワークにとってメリットがないため、就職に結びつけるまでをやっていききたい。
- ・現在ミニ面接会を実施(女性活躍支援センターでの実施は現実的ではない。
- ・愛知の労働局にいて、今年度4月に赴任したので、名古屋にマザーズハローワークという女性の

就労支援に特化したハローワークがある。

・月1回出張相談を女性活躍支援センターで実施していきたい。

⇒豊田市にもセンターと同じような取り組みがあり、平成30年11月にリニューアルオープンすること、市が民間に委託をして職業紹介等実施している。

（事務局）

□カミーノ全般

・参加に条件があるものもあるが、女性活躍センターについては、特段条件を設けていないです。

□みのかも成人式について

・実行委員形式を20年継続してやっています。

・来ない人の意見を聞いたことはないです（来る人は聞いている）。

・市民がつくる成人式としてやってきました。

・4年後、18歳の成人を迎えたときが問題で、開催時期等、要検討しなくてはならないと考えています。

・18歳～20歳までの3世代を考えていく必要があります。

・そういった社会の仕組みを考えていく今は転換期である。

□文化の森の市民連携プログラムについて

・市民ボランティアの高齢化が原因のひとつ。

・数制的なものはとっていきたい。

・主対象である子育て中のお母さんがなにを望むのか。

・受けたい方がなにを受けたいかを考えなければならない

・年間で計画を立てる必要があるが、そのときどきのニーズに応えなければならない。

□二市連携 ICT 活用子育て支援事業

・今年度の成果が来年度の計画につながるので注目してもらいたい

□女性活躍支援センターについて

・原則、職員は2名で対応します

・一昨日、ハローワークと協定を結びました。

・一般質問で取り上げられていることでもあり、県の方の支援センターが見本となるので、お願いします。

□おきやれについて

- ・かき氷を食べるのに2時間待ちの状況らしく、地域より外からのお客を集客している。

⇒地域の交流拠点に現在なっていない。

7 美濃加茂市女性活躍支援センターについて【資料3】

(事務局)

- ・愛称は Re:Ola で、Re:は繰り返し、再びで、Ola はやあ！こんにちは！（ポルトガル語）を意味しているものです。※造語
- ・外観に負けないように、コンテンツも充実させていきたい。
- ・目的を持たなくても寄れる場所にしたい。
- ・キャリアデザインカフェ(毎週火曜)、キャリアアップカフェ(月1回)を中心にしていきたい。
- ・女性全般を対象に展開します。
- ・講座の内容等は各講師と調整中で、更なる充実を図りたい。
- ・お父さんも見つけてもらうこともニーズがあれば実施していければいい。
- ・女性が生き生きした姿を生み出していきたい

(アドバイザーからの意見)

- ・男性が面倒みてる、男性目線(あつみ先生)前向きな講座を行う。
- ・女性を助けたいと思う講座をやってみては？
- ・男性側もがんばれば豊になるということを伝える
- ・企業向けなので一般は難しいかもしれないが違いを見せて訴える
- ・子育てが終了してブランクのある方へのフォローが必要
- ・家族の方の理解がいる…お子さんの理解も必要
- ・仕事というものを子どもが理解することも必要なのではないか
- ・ハローワークに小学生、中学生は絶対に来ないので、アピタであれば、一緒に相談してもらったり話を聞いてもらえるのでは
- ・美濃加茂市版にしてスタートされて、これからが楽しみ
- ・スタートしたときは机上で考えて始めただけで、利用する方の声を聴きながら変わっていく
- ・美濃加茂市の市民の方の声を聴きながら汲んでスタートしていることは大きい
- ・利用する層、声、現実とのギャップ…出てきてからが勝負だと思う
- ・声を聴いて反映させていければ美濃加茂らしさがでる
- ・ソファで座って、眺めている人を大事にしてもらいたい
- ・将来性も考えて場所づくりをしてほしい
- ・アピタだから寄れる(近いので行けるのが大きい)

9 閉会

(事務局)

・アドバイザー懇談会、総合戦略、地方創生交付金事業の評価をしてもらわなければならない。本来であれば、形式的になってしまう。本当に良い関係を続けさせてもらえてありがたい。

アピタの常設した拠点、カミーノが市民に寄り添える

新たなステージ ご指導、ご援助をお願いします。

・9月21日については、追って詳細をご連絡します。